



サイクルツーリズムの推進

～『太平洋岸自転車道』の活用による地域活性化～



令和4年12月22日

道路管理課長 高柳伸浩





効果的に拠点滞在型観光へつなげ、地域に密着したサイクル
ツーリズムを定着させるために、

「太平洋岸自転車道」の取組を、どのように進めていくべきか

1. 太平洋岸自転車道について
2. 将来の目指す姿
3. 現在の取組
4. 今後の課題
5. ご意見を伺いたい項目



1. 太平洋岸自転車道について

◆ナショナルサイクルルートとは？

- 日本を代表し世界に誇りうるサイクリングルートとして、ルートの魅力や安全性など、**一定の要件を満たすサイクルルート**を国が指定。 いわば「自転車道の**日本代表**」
- 自転車を通じて、優れた観光資源を有機的に連携する**サイクルツーリズム**の推進により、日本における**新たな観光価値を創造し、地域の創生を図る**ことを目標

【check point】

「サイクルツーリズム」とは？

⇒自転車を活用した観光のこと

- ・自転車に乗って楽しむこと
- ・旅行やレジャーで自転車を利用すること
- ・自転車にまつわるイベントなど





1. 太平洋岸自転車道について

◆6つのナショナルサイクルルートとそれぞれの特徴

【令和元年 1次指定】

○つくば霞ヶ浦りんりんロード（茨城県）176 km
旧鉄道敷を活用したルートや霞ヶ浦を周回する湖岸道路など様々な魅力。



○ビワイチ（滋賀県）193 km
日本最大の湖 琵琶湖を反時計回りに一周するサイクリングコース。



○しまなみ海道サイクリングロード（広島県、愛媛県）70 km
瀬戸内海の島々が織りなす絶景を楽しめ、世界中のサイクリストが注目。



【令和3年5月 2次指定】

○トカプチ400（北海道）403km
山岳ルートや十勝平野を望むパノラマルートが多様な景色が楽しめる。



○太平洋岸自転車道（千葉県、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県）1487km
世界遺産の富士山・熊野古道を始め日本を代表する観光地・景勝地が多数存在するゴールデンルート

○富山湾岸サイクリングコース（富山県）102km
富山湾の絶景を眺めながら満喫。勾配が少なく幅広い世代で楽しめる。





1. 太平洋岸自転車道について

◆太平洋岸自転車道の全体ルート

千葉県銚子市（銚子駅）～和歌山県和歌山市（加太港）延長1487km

- 名称：太平洋岸自転車道(Pacific Cycling Road)
- 延長：1,487km（うち 三重県内延長 約300km）
- 起終点
自：千葉県銚子市JR銚子駅 至：和歌山県和歌山市加太港（三重県内起終点）
自：鳥羽市鳥羽港 至：南牟婁郡紀宝町新熊野大橋



太平洋自転車道 統一ロゴ

※出典：「国土交通省HP」(https://www.milt.go.jp)



1. 太平洋岸自転車道について

◆太平洋岸自転車道 三重県ルート

【ルートの特徴1】

それぞれ特色のある山ルートと海ルートの2ルートが楽しめる

○山ルート： 山々に囲まれながら峠を駆け上がるダイナミックなルート

○海ルート： 伊勢湾や熊野灘の海沿いの景色を楽しみながら走れるルート

三重県ルートの延長 294.2 km

国管理道路 区間 L=106.6km

山ルート(鳥羽市～紀北町)

県管理道路 区間 L=187.6km

- ゲートウェイ (ルート近傍にある、サイクリストの受入環境を備えた、空港、鉄道駅、道の駅等の主要アクセスポイント)
- サイクルステーション (サイクリストが必要とする機能を備えた休憩施設)



山ルートの高高低図



海ルートから望むリアス式海岸



1. 太平洋岸自転車道について

◆太平洋岸自転車道 三重県ルート

【ルートの特徴2】

伊勢志摩地域と東紀州地域のそれぞれ魅力あるルートが楽しめ、他の人気コースの特徴が1つに詰まっている

- 伊勢志摩地域： 英虞湾や的矢湾のリアス式海岸を橋梁で結ぶルート
- 東紀州地域： 七里御浜沿いの穏やかな平坦なルート

○伊勢志摩地域

リアス式海岸の入江を何本もの橋梁で繋いでいるロケーションは国内で最も人気と知名度を誇る「しまなみ海道サイクリングロード」の特徴と、よく似たロケーション



○東紀州地域

22km続く七里御浜沿いを通るルートは「富山湾岸サイクリングコース」「ビワイチ」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の湾岸・湖岸沿いの平坦なコースと同様に走り易いコース





1. 太平洋岸自転車道について

◆太平洋岸自転車道 三重県ルート

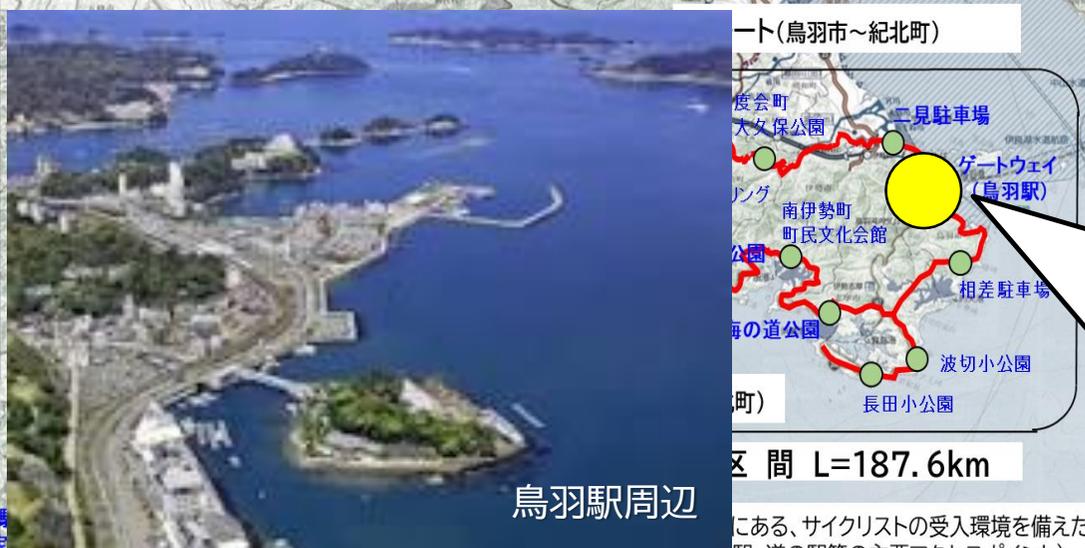
【ルートの特徴3】

サイクリストの玄関口『ゲートウェイ』まで多様なアクセスが可能

○ゲートウェイである鳥羽駅へは、自動車でも鉄道（JR、近鉄）でもアクセスが可能。

○近接して鳥羽港があり、渥美半島を結んでいるフェリーでもアクセスが可能。

三重県ルートの延長 294.2 km



にある、サイクリストの受入環境を備えた、空港、鉄道駅、道の駅等の主要アクセスポイント)

● サイクルステーション (サイクリストが必要とする機能を備えた休憩施設)





1. 太平洋岸自転車道について

◆太平洋岸自転車道 三重県ルートの見どころ

沿線には**観光資源が盛りだくさん**

○ルート沿線では、**伊勢神宮**、**熊野古道**を始めとする多くの観光資源、景勝地が楽しめる。

○ルート沿線では、様々な**海の幸**、**山の幸**を楽しめる。





2. 将来の目指す姿

◆取組の方向性

自転車を通じて優れた観光資源を有機的に連携する**サイクルツーリズムの推進**により、地域の新たな観光価値を創造し**地域の活性化**を図る。

◆将来の目指す姿

- 太平洋岸自転車道を軸として、各地域の回遊性を高めることで「**拠点滞在型観光**」が定着
- サイクリストと地域がふれあい、ともに盛り上がる「**地域一体型**」の**サイクルツーリズム**が定着





3. 現在の取組

◆【走行環境】快適な走行空間の整備

誰もが**安全・快適**に走行できる環境を目指し走行空間を整備

- 矢羽根、ピクトグラムの路面標示
- 案内看板を設置
- 危険箇所において**注意喚起看板**を設置



矢羽根



案内看板



注意喚起看板



3. 現在の取組

◆【受入環境】快適な休憩施設の整備

サイクリストがいつでも休憩できる環境を整備

○休憩できる道の駅や公園をサイクルステーションに位置付ける

○サイクルステーションにおいてサイクルラックや空気入れを整備



サイクルステーション
(道の駅「熊野・花の窟」)



サイクルラック・空気入れ
(長田小公園)



3. 現在の取組

◆【情報発信】サイクリストへの情報提供や認知度UPへ向けて

サイクリストが容易に情報を得られるよう**情報発信**

- 公式ルートマップをゲートウェイやサイクルステーションに設置
- 各種雑誌において太平洋岸自転車道をPR
- 県土整備部公式ツイッターや太平洋岸自転車道HPで三重県ルートを紹介・PR

公式ルートマップ



公式ツイッター



ポータルサイト



※出典：「近畿地整HP」(https://www.kkr.milt.go.jp)



3. 現在の取組

◆【連携取組】地域団体と連携しサイクルツーリズムの推進

- 熊野エリア道の駅協議会、東紀州3市町と自転車活用セミナーを共催し、関係者相互の交流や連携を推進
- 自転車イベントにおいて太平洋岸自転車道の紹介ブースを設置し、サイクリストに向けてPRを実施
- ナショナルサイクルルート認定記念イベントを民間団体と協力して開催



「第2回自転車活用セミナー」
(R4年11月)



伊勢志摩サイクリングフェスティバル(R元年12月)



ワールド熊野(R4年5月)



紀南シーサイドヴェロフェスタ
(R4年11月)

三重県職員も
多数参加

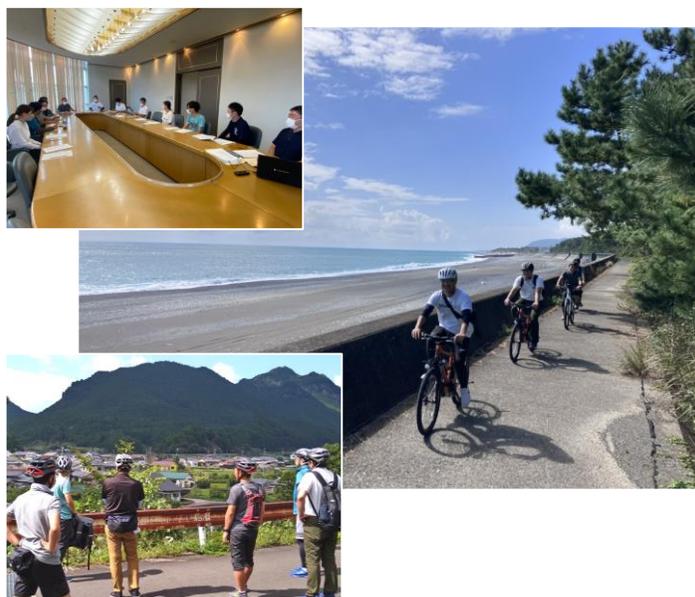


3. 現在の取組

◆【魅力づくり】多様な主体による三重県ルートの魅力づくり

- 太平洋岸自転車道と連携した地域周遊ルートの設定に向けて、国、県、町の職員が協働で候補ルートの実走や勉強会を開催
- 令和4年9月から近鉄松阪駅から賢島駅間のサイクルトレインが通年で運行開始
- 紀南高校と熊野エリア道の駅協議会がコラボして太平洋岸自転車道PRのスイーツを開発販売

七里御浜周辺の周遊ルート設定に向けて実走検証後、意見交換



近鉄松阪駅～賢島駅でサイクルトレインが運行開始



※近鉄他プレスリリース資料より引用

紀南高校生徒会によるPR企画



道の駅で好評販売！





3. 現在の取組

◆【連携施策】「道の駅」との連携

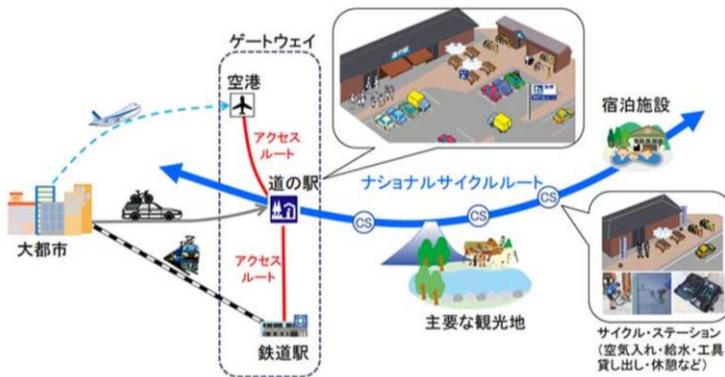
- ナショナルサイクルルートにおいて「道の駅」を活用。新たな観光価値を創造し地域の創生を図る
- 令和4年4月、「道の駅「奥伊勢おおだい」」を核として多様な主体が連携し、広域的な観光振興の促進を図るため『新「道の駅」観光連携協議会』を発足

【check point】

「道の駅」とは？

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々への「情報発信機能」、道の駅をきっかけに活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」を併せ持つ休憩施設。

道の駅のコンセプト



道の駅をゲートウェイ（主要アクセスポイント）やサイクルステーション（休憩施設）として活用



「奥伊勢フォレストピア」までのサイクルルートに矢羽根を設置（予定） 16

※出典：「国土交通省HP」(https://www.milt.go.jp)



3. 現在の取組

◆【連携施策】 「日本風景街道」との連携

- 令和3年9月に太平洋岸自転車道に接続・隣接する日本風景街道の登録7ルートが連携・協力し、相互の効果を高めるために、「太平洋岸自転車道ナショナルルート中部・日本風景街道連絡会」を設立
- 全国の日本風景街道ルートの情報交換の場である「日本風景街道大学」で、地域で活動するコミュニティとサイクルツーリズムの連携をテーマに講演やイベント等を開催

【check point】

「日本風景街道」とは？

これまでの人やモノが移動する空間であった道路を、訪れる人がその景観を楽しみ、憩いや交流の場になるような道づくりの活動とこれを支援する取組。



公式ロゴマーク



きらり三橋
志摩夕焼けパール海道



日本風景街道大学「蜃気楼の見える街 魚津キャンパス」(R4年10月)

日本風景街道大学
蜃気楼の見える街魚津キャンパス
UOZU CAMPUS 2022 ~SHINKIRO ROAD~

～昔かて活かある地方創りと日本風景街道の理念と実践～

令和2年3月、日本風景街道に登録された「蜃気楼ロード」。これまで地域で活動してきたコミュニティとサイクルツーリズムがどのように連携し地域を活性化できるか？この蜃気楼の見える街「魚津市」で日本風景街道大学を開催します。

開催日時	内容
2022 10.28(金) 13:00～17:00	日本風景街道大学 蜃気楼の見える街魚津キャンパス 会場 蜃気楼文化ホール 住所 富山県魚津市宮津110
2022 09～12/30	◆バスで行くエクスカーション ◆自転車で行くエクスカーション ①富山海岸サイクリングコース 10km ②富山海岸サイクリングコース 25km ※キャンセル・中止はキャンセル ※各参加費は各自持ち合わせ

お問い合わせ
TEL 0743-231-1028 FAX 0743-231-1109
E-mail: uozucampus@city.uozu.jp

太平洋岸自転車道NCRミーティング@はままつ
第1部 太平洋岸自転車道ナショナルサイクルルート
中部・日本風景街道連絡会 発足会

太平洋岸自転車道
Pacific Cycling Road

太平洋岸自転車道ナショナルルート
中部・日本風景街道連絡会 発足会

出典：YouTube「日本風景街道公式チャンネル」
(<https://m.youtube.com/>)

※出典：「中部地方整備局HP」(<https://www.cbr.milt.go.jp>)

※出典：「国土交通省HP」(<https://www.milt.go.jp>)



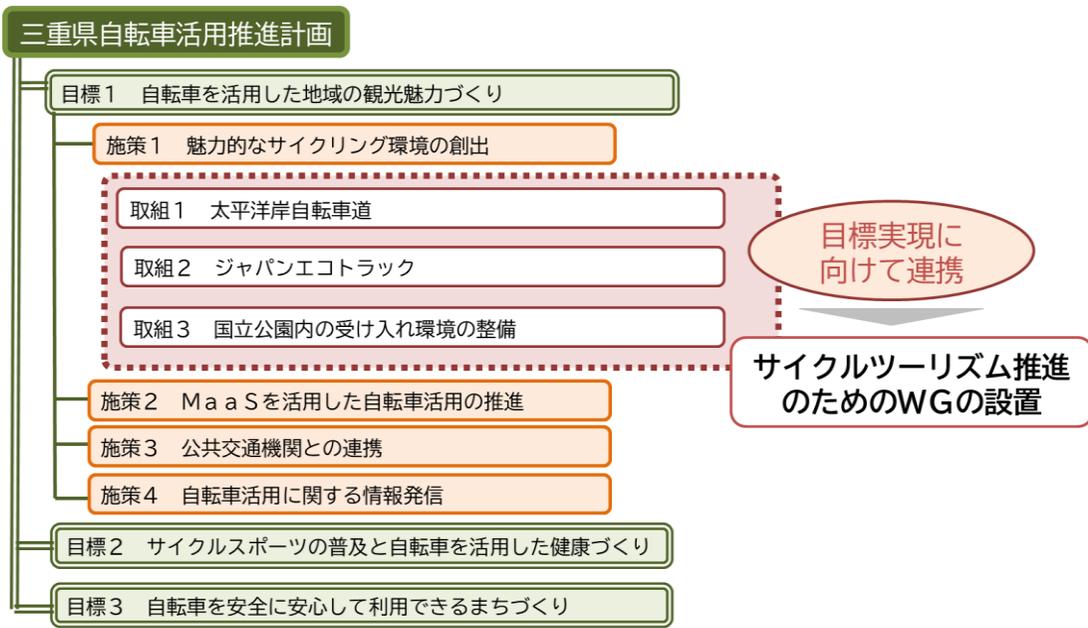
◆【推進体制】様々な主体と連携したサイクルツーリズムの推進

- 令和4年10月に全国のナショナルサイクルルート6ルート・12道県の連携強化を図り、サイクルツーリズムを一層盛り上げる好機とするため「ナショナルサイクルルート 知事オンラインミーティング」を開催。今後、連携して国内外に強力にPRすることを確認
- 太平洋岸自転車道利活用推進協議会（国、県、沿線市、民間団体）による関係者の連携や自転車利活用推進のため庁内WGを設置し、更なるサイクルツーリズム推進へ

ナショナルサイクルルート知事オンラインミーティング (R4年11月)



庁内のサイクルツーリズム推進体制強化のためのWGの設置 (R4年9月)





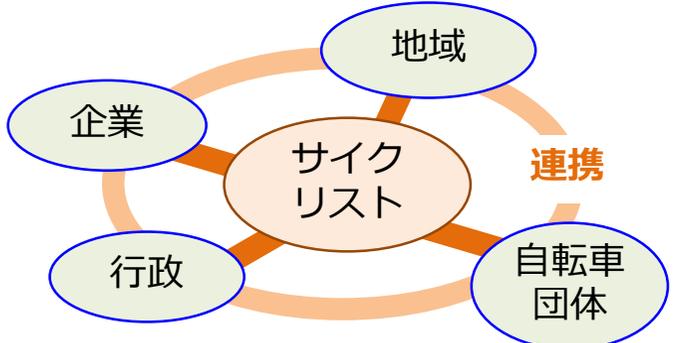
◆ 課題を乗り越え「世界に誇るサイクリングルート」へ

- ① 知名度が今一つ ⇒ 本名「太平洋岸自転車道 三重県ルート」から親しみやすい「愛称」へ
- ② まだまだ施設の充実が必要 ⇒ 走行空間の安全性、快適な受入れ環境の充実が必要
- ③ ダイナミックな反面、タフな中上級者向けのコース
⇒ 多様な主体が連携し地域周遊ルートの設定が必要

① 「トカプチ400」「ビワイチ」「しまなみ海道」「Wakayama800」のような親しみやすい愛称をつけて国内外の知名度UPへ

③ 一気に駆け抜けるだけでなく、各地域の地域ルートで回遊性を高め、誰もが楽しめるサイクリング環境の創出

② 自動車交通量の多い区間の矢羽根の増設や路肩の拡幅等のさらなる施設の充実が必要





5. ご意見を伺いたい項目

◆将来の目指す姿に向けて…

- 太平洋岸自転車道を軸として、各地域の回遊性を高めることで「拠点滞在型観光」が定着
- 訪れたサイクリストと地域が、ふれあい、ともに盛り上がる「地域一体型」のサイクルツーリズムが定着

◆ご意見をお願いします。

効果的に拠点滞在型観光へつなげ、地域に密着したサイクルツーリズムを定着させるために、

「太平洋岸自転車道」の取組を、どのように進めていくべきか

具体的な取組のアイデアなど、様々な意見をお願いします。